

Data(2013年9月現在)

所在地：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5

スタッフ：伊藤直子(教授)、布花原明子(准教授)、石井美紀代(准教授)、鹿毛美香(助教)、佐藤優(助教)、水原美地(助手)

http://www.seinan-jo.ac.jp/univers/



西南女学院大学保健福祉学部看護学科 公衆衛生看護・在宅看護領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

西南女学院は、1922(大正11)年の創立以来、「キリスト教に基づく女子教育」を行っています。西南女学院大学もこの原点である「感恩奉仕」の心を大切に、女性としての豊かな人間力と専門的な実践力で社会に貢献する人材を育てています。

キャンパスには、大学2学部5学科、短期大学部2学科、助産別科があります。看護学科は、1994(平成6)年に開設され、人間理解をめざしたヒューマニティあふれる看護専門職を育てるために、19年の歩みを続けています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護の対象である人間を「総合的に理解する」ことを基盤とし、「公衆衛生看護」では、対象がどのような環境の中で生活を営んでいるのかを常に考えながら、家庭訪問、保健指導や地域活動支援など、多様な支援方法が、地域の健康課題解決に向けて重層的に展開されていることを学びます。そのため実習では、保健師の住民への思い、活動の経緯や背景を聴き、学生が地域に何が必要かを考え表現する機会を大切にしています。

「在宅看護」では、在宅の定義を「対象が住まうあらゆる場」とし、多領域と協働しながら療養生活を支える看護の重要性を意識して教育しています。そのため、訪問看護ステーションでの実習を基盤

に、地元医師会の協力を得て、地域に根差した活動をされている内科や小児科診療所での実習も行っています。

本学の学生は、卒業してすぐに訪問看護師や保健師として活動することは少ないのですが、臨床経験後、訪問看護や行政の保健師として活躍する卒業生が徐々にみられるようになってきました。そのような選択をした学生の多くは、学生の時の「あの実習」が忘れられなくて、いつか地域の現場に踏み込みたいと願っていたことを話してくれます。

Research

どのような研究をしていますか？

現場の問題意識に寄り添って、保健師活動に根拠性の担保を提供できるような研究をめざしています。最近では、特定健診受診行動とソーシャルキャピタルとの関連、地域づくりの中核を担う保健ボランティアの活動に関する研究、国民健康保険の医療費分析や自治体に蓄積されている母子保健に関する大規模データの分析などがあります。

Collaboration

地域の保健活動の現場とのつながりは？

地域の保健師活動および訪問看護活動における現任教育や事業企画評価を協働で実施しています。また、自治体等からの要望による、審議会や委員会などへの参加もできる限り行っています。これらをとおして、現場と教育機関のつながりを太くし続けたいと願っています。

ひとこと

保健師活動が大好きな教員が学生にその魅力を伝えようと日々奮闘しています。それ以上に、実習で現場の保健師さんが語る保健活動のやりがいや意義は、学生の気持ちを大きく揺り動かします。地域の方々のために保健師として貢献したい、と芽生える感情を大切に育まれればと思います。

……伊藤

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp